

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

長岡市長 磯田 達伸

市町村名 (市町村コード)	長岡市 (152021)
地域名 (地域内農業集落名)	才津地域 (下山、才津1、才津2、才津3、才津4、上富岡、大島、藤橋、北山、緑町2、緑町3)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和6年2月19日 (第1回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

当地域は、2法人と個人の担い手が水稻を中心に一部では園芸を行っている。圃場整備を行っているところは良いが、未整備地については、今後受け手の確保が課題となる。泉島は地主が越路地域であり、耕作は越路地域の担い手が行っている。上富岡は比較的若い担い手がいるが、才津は法人の高齢化が課題である。また、ライスセンターの稼働率が上がっていない状況にある。

(2) 地域における農業の将来の在り方

圃場の条件が良いところは受け手の確保は可能と思われるが、未整備地をどのようにしていくのかを引き続き話し合っていく。  
また、後継者不在による農地の空洞化を防ぐために、新たな担い手の確保についても地域で話し合っていく必要がある。  
地域内のライスセンターの稼働率を上げるために、近隣地域への声かけを行っていく。

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	213.86 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	174.21 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積)【任意記載事項】	ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方(範囲は、別添地図のとおり)

農振農用地区域内の農地(青地)を対象農地とする。

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1)農用地の集積、集約化の方針
比較的集積は進んでいるが、農地中間管理機構を活用し、農地の集積・集約化を進めていく。
(2)農地中間管理機構の活用方針
現状は相対契約が多いが、農地中間管理機構を活用し、農地の集積・集約化を進めていく。
(3)基盤整備事業への取組方針
基盤整備事業の取組はない。土地の地権者や、近隣地域の考えにもよるため、引き続き検討する。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組方針
地域を担う法人の構成員が高齢化しており、引き続き今後の担い手について協議していく。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください)

<input type="checkbox"/>	①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/>	②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/>	③スマート農業	<input type="checkbox"/>	④輸出	<input type="checkbox"/>	⑤果樹等
<input type="checkbox"/>	⑥燃料・資源作物等	<input type="checkbox"/>	⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/>	⑧農業用施設	<input type="checkbox"/>	⑨耕畜連携	<input type="checkbox"/>	⑩その他

【選択した上記の取組方針】

--